

## 令和4年度 国民健康保険事業特別会計当初予算見積額の概要

## 1. 予算算定における基礎数値

	R 4 当初予算見積	R 3 当初予算	増減
被保険者数	259,835 人	268,680 人	3.3%減
一人当たり医療給付費	345,773 円	335,220 円	3.1%増

## 2. 歳入・歳出等の見込み

歳入	R 4 当初見積	R 3 当初	前年比	歳出	R 4 当初見積	R 3 当初	前年比
分担金及び負担金	32,322,561	32,781,059	98.6%	総務管理費	58,780	69,549	84.5%
国庫支出金	31,179,432	30,540,972	102.1%	普通交付金	90,522,151	90,775,029	99.7%
繰入金	9,359,022	7,048,830	132.8%	特別交付金	2,136,320	2,508,096	85.2%
都道府県繰入金	5,895,393	5,614,233	105.0%	後期高齢者支援金等	15,871,342	15,878,611	100.0%
基金繰入金	2,166,833	134,892	1606.3%	介護納付金	5,618,809	5,244,422	107.1%
その他繰入金	1,296,796	1,299,705	99.8%	共同事業拠出金	285,546	192,673	148.2%
繰越金	125,048	0	純増	償還金	74,895	133,235	56.2%
前期高齢者交付金等	41,627,037	44,552,939	93.4%	その他支出金	45,257	122,185	37.0%
合 計	114,613,100	114,923,800	99.7%	合 計	114,613,100	114,923,800	99.7%

## (1) 基金繰入金等の活用 約 22.1 億円

- ・前期高齢者交付金は令和2年度分交付金の精算等の影響により 30.2 億円の減。
- ・これらによる納付金の増を抑制するため、基金繰入金 20.8 億円、前年度の繰越金 1.3 億円を活用。

## (2) 激変緩和措置 約 2.6 億円

令和3年度から納付金等の算定方法を変更したことに伴い、被保険者の負担の急増を抑制するため激変緩和を行う。



## 3. 一人当たり標準保険料

	R 4 年度	R 3 年度	増減	
一人当たり標準保険料	110,793 円	107,851 円	2,942 円増	2.7%増

参考) 一人当たり標準保険料 H30 年度 110,247 円 R 元年度 119,227 円 R 2 年度 117,642 円